

令和7年度 第4回 初生小学校運営協議会

日 時：令和8年2月9日（月）午後2時～午後3時30分

場 所：初生小学校 2階 調べ学習室

次 第

進行：岩佐 好純

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 日程確認
- 5 議長選出
- 6 前回会議録確認 【5分】
- 7 熟議 進行：議長 上乘会長
 - (1) 学校関係者評価について 【20分】
 - ・ねらい・・・学校評価実施要項（4月4日付）に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図るとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めるため。
 - ・ゴール・・・当該年度の学校が行った自己評価の結果と考察及びそれを踏まえた今後の改善法策について評価する。
 - (2) 来年度の学校運営基本方針について 【20分】
 - ・ねらい・・・教育課程の編成及び学校経営に関する全体構想等、基本的な方針について協議会の承認を得る。
 - ・ゴール・・・学校教育目標、目指す子供像、つきたい力、重点項目等、実態を踏まえた方針となっているか熟議する。
 - (3) 学校運営協議会自己評価について ※結果を学校HPに公開 【20分】
 - ・ねらい・・・この評価は、学校運営協議会自己評価実施要項（4月2日付）に基づき「各協議会が、自らの取組について、その組織内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る」ため。
 - ・ゴール・・・必須の評価項目である4項目、各協議会で追加する項目について話し合う。個人の意見ではなく、協議会としてまとめた結論となるよう留意する。
- 8 報告 【10分】
 - (1) 夢育やらまいか事業について
 - (2) 学校支援コーディネーターより
- 9 その他・連絡事項 【5分】
 - (1) 第2期学校運営協議会委員について
 - (2) 来年度開催日時及び議長選出 本年度4月22日（火）
来年度4月 日（ ）
- 10 閉会

令和7年度 第3回 初生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月6日（木）14時00分から15時35分まで
- 2 開催場所 初生小学校 調べ学習室
- 3 出席委員 上乘 菜穂子、猿田 金昭、柴田 宏祐、山崎 晋司、辻村 拓磨、猪野 久美子
- 4 欠席委員 山本 福次郎、関 美奈子
- 5 オブザーバー 夏目 聖（三方原協働センター主幹）
- 6 学 校 井口 幸英（校長）、磯部 志保（教頭）、岩佐 好純（主幹）、田中 由紀子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田中 由紀子
- 9 前回議事録確認
- 10 議長の選出

前回の協議会において、議長の選出について委員に意見を求めたところ、上乘会長から辻村委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 令和8年度学校経営方針の方向性について
- (2) 地域としてできる支援について

12 会議記録

司会の岩佐から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立する旨の報告があった。

(1) 令和8年度学校経営方針の方向性について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき令和8年度学校経営方針の方向性について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・校長の目指すものが非常にわかりやすい説明だった。（上乘会長）
- ・学校教育目標の「なりたい自分」とあるが、どのようなものを「なりたい自分」とするのか、糸口を見つけさせるのは難しさがあると思った。（上乘会長）
- その時々小さな目標の積み重ねが、将来の大きな目標になるといい。（井口校長）
- ・「なりたい自分」の「なりたい」という言葉がキャリア的な意味と捉えられる面がある。（柴田委員）
- ・教員の負担が大きくなるような気がした。教員個々の能力の見極めが大変だと思うが頑張ってもらいたい。（上乘会長）
- ・「体力向上」について、部活動が無くなったので、なわとびカードなどで表彰する機会があると子供にとって良いと思うが、様々な意見があるので配慮が必要かとも思う。（山崎委員）
- ・運動に関しては、個々で小さな目標を立てやすく、それを達成することで自信がつくと思う。（辻村委員）

(2) 地域としてできる支援について

議長の指示により、協議事項(1)を受けて、委員からは以下の発言があった。

- ・学校側がどのような支援が欲しいのか明確にしてもらいたい。(上乘会長)
- ・「体験活動」については、中野市長の講話にあった「郷土愛」に結びつくのではないか。(辻村委員)
- 初生地域には魅力ある人材が多いので、地域の方を招いて子供たちに語ってもらう機会を設けたい。(井口校長)
- ・PTA 加入率はどのくらいか。(上乘会長)
- 加入率は6割未満。現在のPTAの活動状況は、資源物回収のみ。(辻村委員)
- ・旗振りや、学校の清掃活動などの働きかけを、PTAばかりに任せるのではなく、学校運営協議会としても動くことが必要だと思う。(柴田委員)
- ・PTA 会長が、保護者の前で話をする場がない。PTA をアピールできない。(上乘会長)
- ・校内の側溝掃除は、地域活動として行うのか。(猿田委員)
- ・本来は保護者がすべきではないか。(上乘会長)
- ・地域の土木関係者に声掛けをすれば協力してくれるのではないか。(山崎委員)
- ・清掃活動については、PTA と学校、初生小応援団と話し合いをして募集をしたい。(辻村委員)
- ・年度途中で退職した職員がいたと聞いた。学校運営協議会の機能にある「教職員の任用に関する意見」について、今後協議するべきだと思う。(柴田委員)

13 その他連絡事項等

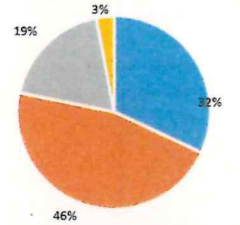
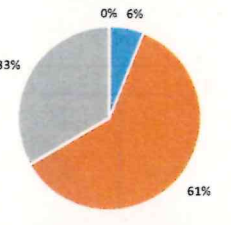
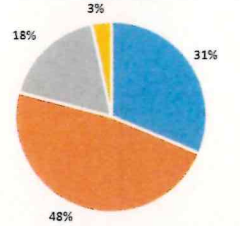
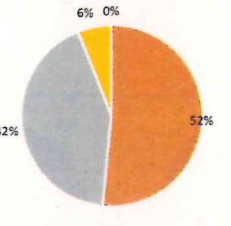
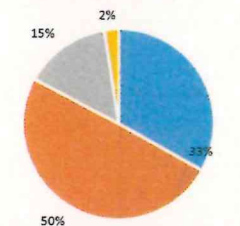
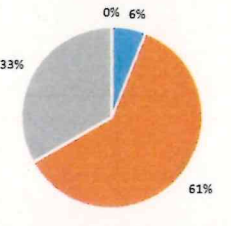
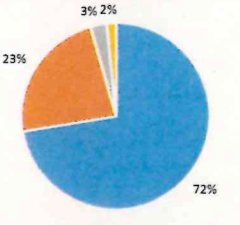
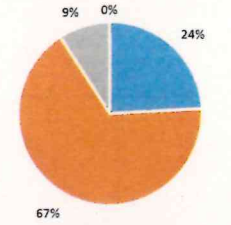
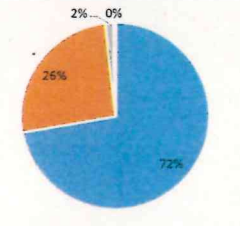
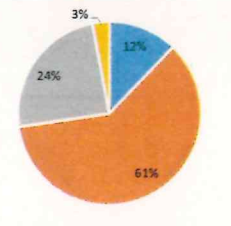
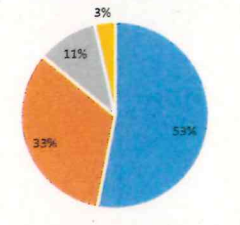
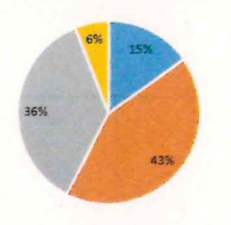
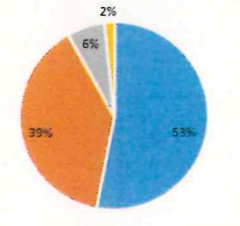
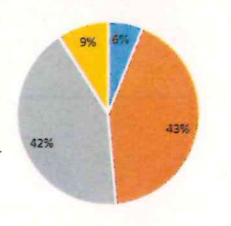
・司会から、次回会議は、令和8年2月9日(月)午後2時00分から調べ学習室で開催することが確認された。

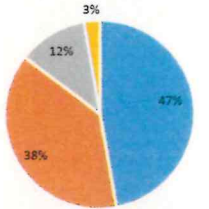
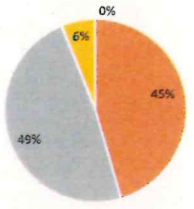
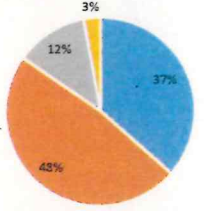
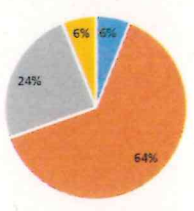
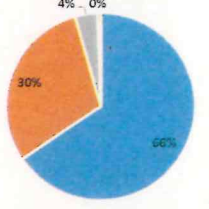
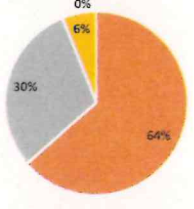
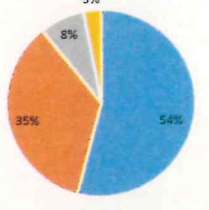
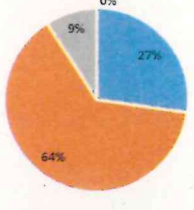
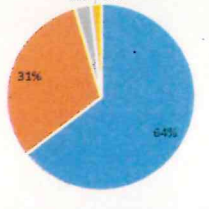
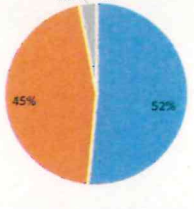
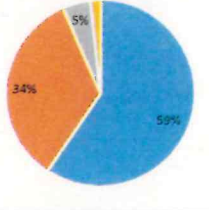
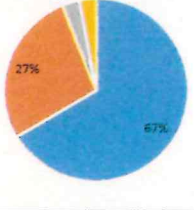
- ・司会から、次回の議長の選出について委員に意見を求めたところ、上乘会長から議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

前期

令和7年度 初生小 前期 学校評価アンケート集計結果

設問 (※職員は、「あなたは」を「児童は」で)	児童	職員
1 あなたは、「なりたい自分(目標)」をもちながら、学校生活を送っていますか。		
2 あなたは、学習したり経験したりしたことを活かしながら、学校生活をよりよくしようとしていますか。		
3 あなたは、友達と教え合ったり、協力したりしながら学校生活を送っていますか。		
4 あなたは、楽しい学校生活を送っていますか。		
5 あなたは、合言葉「さあ、やってみよう!」を意識しながら、いろいろなことに挑戦していますか。		
6 あなたは、人の話をしっかりと聴いていますか。		
7 あなたは自分から課題を見つけて、進んで学習に取り組んでいますか。		

<p>8 あなたは、自分の考えと友達の考えを比べて、自分の考えを深めていますか。</p>		
<p>9 あなたは、自分の考えを、自分の言葉で相手に分かりやすく伝えていきますか。</p>		
<p>10 あなたは、学んだことを生かして、新しい問題を解決しようとしていますか。</p>		
<p>11 あなたは、自分を大切にしていますか。</p>		
<p>12 あなたは周りの人を大切にしていますか。</p>		
<p>13 あなたは、自分から進んであいさつをしていますか。</p>		
<p>14 あなたは、ルールやマナーを守り、周りに迷惑をかけないように学校生活を送っていますか。</p>		

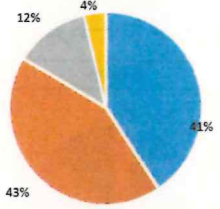
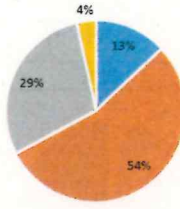
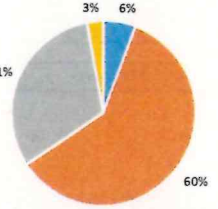
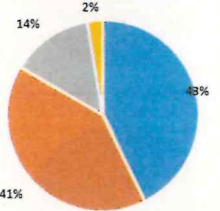
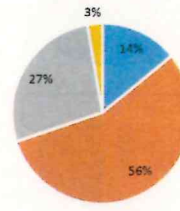
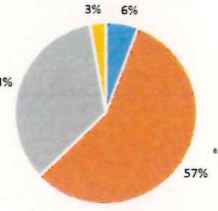
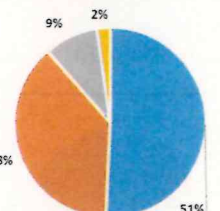
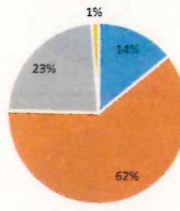
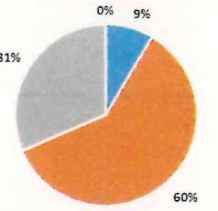
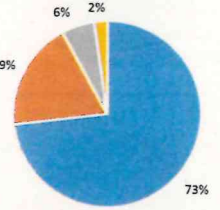
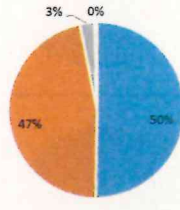
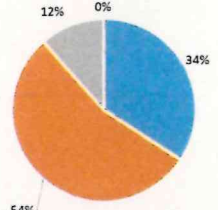
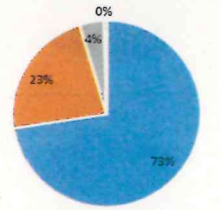
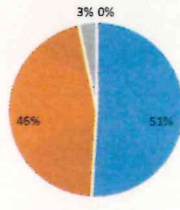
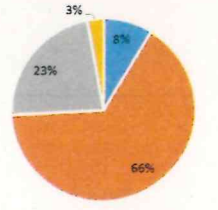
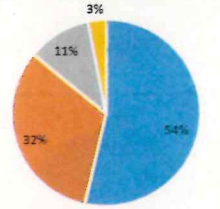
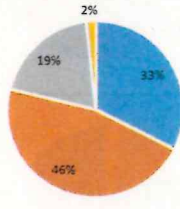
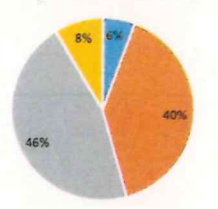
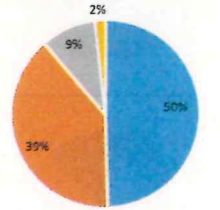
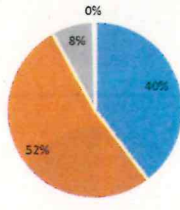
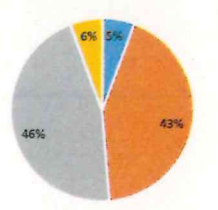
<p>15 あなたは、うまくいかないことがあっても、あきらめることなく努力続けましたか。</p>		
<p>16 あなたは、身の回りのことを自分でしたり、規則正しい生活をしたりしていますか。</p>		
<p>17 あなたは、安全な生活を心がけていますか。</p>		
<p>18 学校は、気軽に相談にのってくれますか。</p>		
<p>19 学校は、子供ひとりひとりを大切にしていますか。</p>		
<p>20 学校は、いじめに対して、すぐに、そして丁寧に対応してくれますか。</p>		

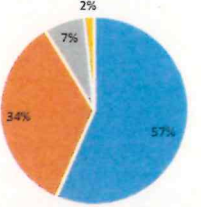
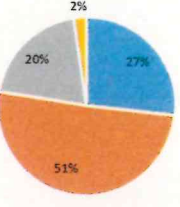
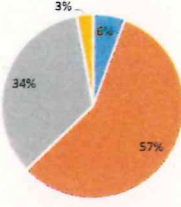
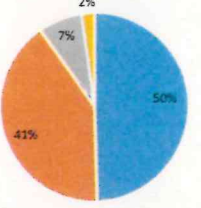
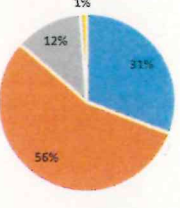
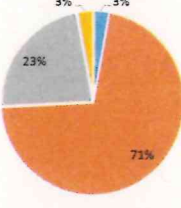
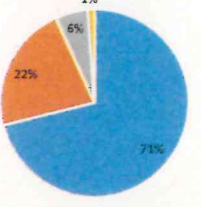
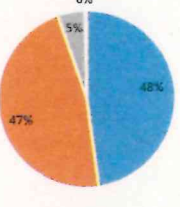
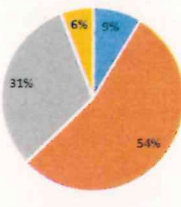
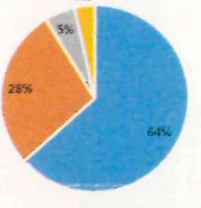
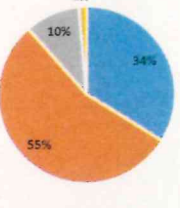
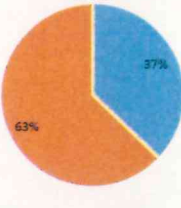
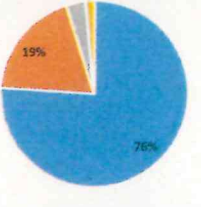
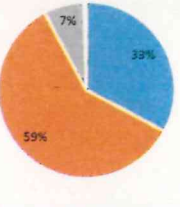
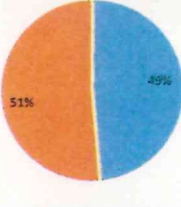
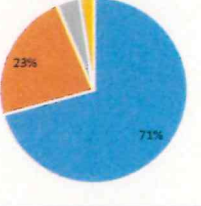
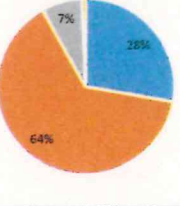
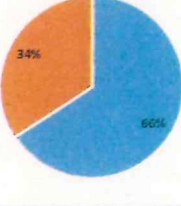
■ よくできている と思う
 ■ 大体できている 大体思う
 ■ あまりできていない あまり思わない
 ■ できていない そう思わない

後期

令和7年度 初生小 後期 学校評価アンケート集計結果

設問 (※職員は、「あなたは」を「児童は」で)	児童	保護者	職員
1 あなたは、「なりたい自分(目標)」をもちながら、学校生活を送っていますか。			
2 あなたは、学習したり経験したりしたことを活かしながら、学校生活をよりよくしようとしていますか。			
3 あなたは、友達と教え合ったり、協力したりしながら学校生活を送っていますか。			
4 あなたは、楽しい学校生活を送っていますか。			
5 あなたは、合言葉「さあ、やってみよう!」を意識しながら、いろいろなことに挑戦していますか。			
6 あなたは、人の話をしっかりと聴いていますか。			
7 あなたは自分から課題を見つけて、進んで学習に取り組んでいますか。			

<p>8 あなたは、自分の考えと友達のを比べて、自分の考えを深めていますか。</p>			
<p>9 あなたは、自分の考えを、自分の言葉で相手に分かりやすく伝えていますか。</p>			
<p>10 あなたは、学んだことを生かして、新しい問題を解決しようとしていますか。</p>			
<p>11 あなたは、自分を大切にしていますか。</p>			
<p>12 あなたは周りの人を大切にしていますか。</p>			
<p>13 あなたは、自分から進んであいさつをしていますか。</p>			
<p>14 あなたは、ルールやマナーを守り、周りに迷惑をかけないように学校生活を送っていますか。</p>			

<p>15 あなたは、うまくいかないことがあっても、あきらめることなく努力し続けましたか。</p>			
<p>16 あなたは、身の回りのことを自分でしたり、規則正しい生活をしたりしていますか。</p>			
<p>17 あなたは、安全な生活を心がけていますか。</p>			
<p>18 学校は、気軽に相談にのってくれますか。</p>			
<p>19 学校は、子供ひとりひとりを大切にしていますか。</p>			
<p>20 学校は、いじめに対して、すぐに、そして丁寧に対応してくれますか。</p>			

■ よくできている と思う
 ■ 大体できている 大體思う
 ■ あまりできていない あまり思わない
 ■ できていない そう思わない

令和8年度学校経営構想【案】

1 国の動向

将来の予測が困難なVUCA（「Volatility（変動性）」「Uncertainty（不確実性）」「Complexity（複雑性）」「Ambiguity（曖昧性）」）と言われる時代の中で、社会の変化に主体的にかかわり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮するとともに他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生（Well-being）の創り手となる力を、子供一人一人に身に付けられるようにすることが重要である。

2 市の方針（第4次浜松市教育総合計画）

(1) 基本理念及び3つのコンセプト

『描く夢や未来の実現』⇒「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」

(2) 目指す子供の姿

- ア 自分らしさを大切にする子供
- イ 他者と協働し、主体的に行動できる子供
- ウ 自己調整しながら、粘り強く取り組む子供

(3) 目指す教職員の姿

- ア 子供の自分らしさを受け止める教職員
- イ 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- ウ 専門性と指導力を磨き続ける教職員

<浜松市校長会議>

～ 中野市長の講話より ～

▶市内における人口減少が大きな課題
⇒学校教育を通して子供たちに「郷土愛」を育てほしい。

3 子供の実態

- 自分の気持ちに素直な子が多い。 ○イベントや行事に爆発的な力や団結力を発揮する。
- ほめられるとやる気になる子が多い。
- 自分に自信がなく主体性や粘り強くやり遂げようとする態度にやや欠ける。
- 感情、行動のコントロールが苦手。 ●相手の気持ちを押し量るのが苦手。
- 発達障害・愛着障害を抱える子供の増加。 ●好奇心が弱く、自己肯定感が低い。

4 令和8年度学校教育目標

学校という社会の中で、あらゆる教育活動を受け身で対応するのではなく、子供一人一人が物事に主体的に向き合い、他者と協働的にかかわり合いながら、粘り強く挑戦し続けることを通して、自分（自分たち）の良さや可能性をより一層輝かせながら、子供自ら魅力ある楽しい学校生活を創り上げていこうとする力を育ていく。

また、学校教育目標は、教育活動に携わるすべての者（子供・教員・保護者・地域の方等）

が、その意味や価値を具体的にイメージすることができるものでなくてはならない。すべての者の中が共通の目標に向かって日々の教育活動を推進していくことで、教育的効果は更に高まるものとする。これらのことを踏まえ、令和8年度の学校教育目標を、

なりたい自分を共に目指して さあ、やってみよう！

とする。

(1) 設定理由

ア どうして「なりたい自分」なのか？

<p>どうしてなりたい自分なの？</p>	<p>それは、その時々『なりたい自分』といった小さな目標の積み重ねが、みんながいつか叶えたいと思う『夢』といった大きな目標に繋がるから。</p>
----------------------	--

イ どうして「共に目指して」なのか？

<p>どうして共に目指してなの？</p>	<p>それは、いろいろな「ひと・もの・こと」との関わりを通して、自分一人ではなかなか気づくことができない考え方や知識、知恵などを身に付けることができるから。</p>
----------------------	--

ウ どうして「さあ、やってみよう！」なのか？

<p>どうしてさあ、やってみようなの？</p>	<p>それは、今までの自分から新たななりたい自分になるためには、自分がやってみたいことや今までやったことがないことなど、新たなことに挑戦することが必要だから。</p>
-------------------------	---



(2) 補足

なりたい自分には？

<p>なりたい自分には？</p>	<p>『なりたい自分』には、「なりたい自分【自立・主体性】」といった個人の目標と、「なりたい自分たち【共生・協働性】」といった集団としての目標の2つがある。</p>
------------------	--

(3) 具体的な子供の姿

ア 「なりたい自分」とは？

【自立・主体性】	【共生・協働性】
<p style="text-align: center;">なりたい自分<small>じぶん</small>って？</p> <p>〇〇ができるようになりたい</p> <p>〇〇のような人<small>ひと</small>になりたい</p> <p>自分の目標<small>じぶん もくひょう</small></p> 	<p style="text-align: center;">なりたい自分たち<small>じぶん</small>って？</p> <p>〇〇のような学年・学級<small>がくねん がっきゅう</small>にしたい</p> <p>〇〇のような学校<small>がっこう</small>にしたい</p> <p>みんなの目標<small>みんなの もくひょう</small></p> 
<p>ここでの「なりたい自分」は、〇〇ができるようになりたい、〇〇のような人になりたいといった自分の目標をもつこと。</p>	<p>ここでの「なりたい自分たち」は、〇〇のような学年・学級にしたい、〇〇のような学校にしたいといったみんなの目標をもつこと。</p>

イ 「共に目指して」とは？

【自立・主体性】	【共生・協働性】
<p style="text-align: center;">共に目指して<small>とも めざ</small>って？</p> <p>考える<small>かんが</small> ↔ 対話<small>たいわ</small> ↔ 聴く<small>き</small></p> <p>なりたい自分<small>じぶん</small>に 近づく<small>ちか</small>ために</p> <p style="text-align: center;">耳<small>みみ</small> 目<small>め</small> 心<small>こころ</small></p>	<p style="text-align: center;">共に目指して<small>とも めざ</small>って？</p> <p>思いやり<small>おも</small> ↔ 合意<small>ごうい</small> ↔ 規律<small>きりつ</small></p> <p>なりたい自分たち<small>じぶん</small>に 近づく<small>ちか</small>ために</p> <p style="text-align: center;">ルール<small>まも</small> を守る</p>
<p>「なりたい自分」に近づくために、自ら進んであらゆる「ひと」「もの」「こと」に関わりながら、自分に必要な知識や技能、能力、態度等を身に付けていこうとすること。</p> <p>その過程において、自分の考えをもち、対話を通して伝え合うことや、伝え合う際には、「耳」と「目」と「心」を働かせながら人の話をしっかりと聴くことを大切にしたい。</p> <p>また、</p>	<p>「なりたい自分たち」に近づくために、思いやりとルールを守るといった規律の視点から、みんなが安心して楽しく学校生活を送るために大切にしたいことを、みんなで意見を出し合いながら決めていくということ。</p> <p>また、多様な他者の考えや立場を理解したり受け入れたりするとともに、対話を通して合意形成を図ったり、役割を分担し協力して実践したりしようとする。</p>

ウ 「さあ、やってみよう！」とは？

【自立・主体性】	【共生・協働性】
<p>さあ、やってみよう！</p> <p>ちょう せん 挑戦 <small>すぐに</small> <small>あきらめない</small> <small>かい けつ</small> 解決 <small>つて？</small></p> <p>じぶん <small>もくひょう</small> 自分の目標を <small>かんが</small> 考 <small>おし</small> 教 <small>あ</small> え合う</p> <p>達成するために</p>	<p>さあ、やってみよう！</p> <p>そう そう 創造 <small>ふりかえり</small> 振り返り <small>こう どう</small> 行動 <small>つて？</small></p> <p>みんな <small>もくひょう</small> みんなの目標を みんな <small>のために</small></p> <p>達成するために</p>
<p>自分の目標（なりたい自分）を達成するために、新たなことに挑戦すること。例え、うまくいかないことがあったとしても、すぐに諦めるのではなく、解決方法を自分で考えたり、友達や先生と教え合ったりしながら粘り強くやり遂げようとする事。</p>	<p>自分たちの目標（なりたい自分たち）を達成するために、創造力を働かせながらみんなのためになる楽しい活動を考え、行動に移すということ。例え、うまくいかないことがあったとしても、振り返りを通して、更によりよい活動となるよう創り上げていくこと。</p>

5 令和8年度重点目標及び重点施策（手立て）

	知	徳	体
重点目標	意欲的に学ぶ子	仲良くできる子	粘り強い子
重点施策	<p>現在、教育課程編成会議にて、学校教育目標の具現化に向け、知・徳・体の視点から令和8年度の強化・改善の内容を加味した重点施策を検討しています。</p>		

※重点施策は、学校教育目標（重点目標）に繋がる具体的な内容を決定していく。

6 学校経営目標（学校教育目標を達成するための土壌となる学校風土）

一人一人に寄り添い、一人一人を輝かせる、愛情あふれる学校
 ～ 心理的安全性の向上・リアクティブからプロアクティブへの転換 ～

(1) 心理的安全性の向上

「心理的安全性」とは、組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対してでも安心して発言できる状態のことを言い、「生産性が高いチームは心理的安全性が高い」とされており、心理

的安全性を高めることで個人や組織の効果的な学習や革新につながることを期待される。

学校全体で心理的安全性の向上を図ることを通して、子供や保護者が、すべての教職員（管理職も含む）に対して心の内を相談できる関係性や、職場内において教職員同士が情報を密に共有することができる関係性を築き上げることで、例え様々な課題が生じたとしても、組織的な対応を通してよりよい解決策を講じていくことができるようにする。

(2) 「リアクティブ」から「プロアクティブ」への転換

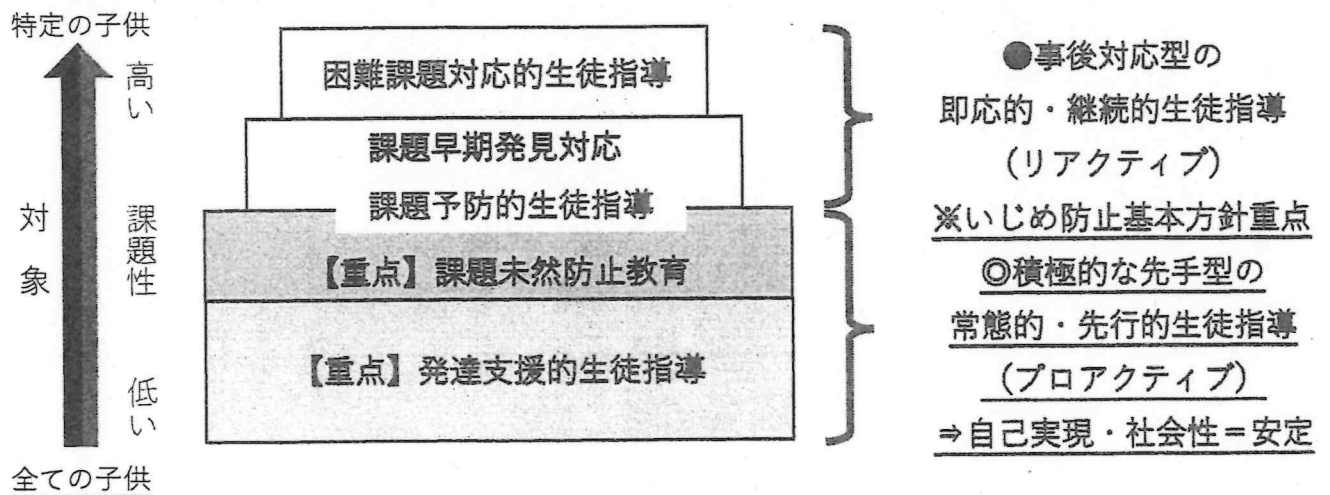
ア 生徒指導には

- 特定の子供を対象とする事後対応型の即応的・継続的生徒指導（リアクティブ）
⇒ 課題早期発見対応・困難課題対応的生徒指導
- ◎ 全ての子供を対象とする積極的な先手型の常態的・先行的生徒指導（プロアクティブ）
⇒ 発達支援的生徒指導・課題未然防止教育

がある。令和8年度は、いじめ防止基本方針の重点として、プロアクティブ「発達支援的生徒指導・課題未然防止教育」に重点を置き、学校全体で温かく丁寧な生徒指導の積み上げを図っていく。

プロアクティブには、子供の個性の発見と良さや可能性の伸長と社会的資質・能力等の発達を支える教職員の働き掛けが重要である。よって、日々の教職員の子供への挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話等、日々の授業や行事等を通した個と集団への働き掛けや、傾聴・受容・共感に基づく深い子供理解に努めていくことを大切にしたい。

【常態的・先行的生徒指導（プロアクティブ）と即応的・継続的生徒指導（リアクティブ）】



イ プロアクティブを重視することで

子供	教職員
あくまでも子供が自発的・主体的に自らを発達させていく。	子供の個性の発見と良さや可能性の伸長と社会的資質・能力等の発達を支える。
✓ 個性の発見と良さや可能性の伸長	✓ 発達支援教育 ⇒ 確かな子供理解・個別支援
✓ 社会的資質・コミュニケーション能力の発達	✓ 特別活動 ⇒ 自治的能力を高める教育活動
◎自己肯定感の向上 ◎より良い人間関係	◎子供との信頼関係の構築 ◎学校の安定

7 令和8年度の強化・改善

(1) 学年体制を重視した学年経営の推進

- ・学級担任から学年担任への意識改革
- ・学年目標の重視
- ・教科担任制、単元・朝帰りの会・給食の時間等の入替指導の導入
⇒可能な範囲で、意図的・計画的に実施

(2) 「子供が育つ！教職員が育つ！」実態・実情に応じた校内研修の推進

ア 楽しい授業づくり

- ・「無理」「できない」「めんどくさい」からの脱却
⇒子供にとって楽しい、やってみたいと思うことができる授業とは？
⇒子供にとって楽しい授業を推進するための手立てとは？
- ・「聴く力」の育成重視

イ 学級づくり・信頼関係づくり

- ・学級づくり（学級開き・集団規律の育成・学級経営等に係る指導技術）
- ・児童・保護者との信頼関係づくり
⇒コーチングスキルアップ
⇒カウンセリングマインドの基本姿勢と具体的なスキルの習得 等

(3) 子供が主体的・協働的に創り上げる楽しい学級・学年・学校づくりの推進

- ・特別活動を核とした自治的能力・コミュニケーション能力を高めるための教育活動
⇒代表委員会の意図的・計画的な実施
⇒学年（学級）イベントの奨励
⇒委員会の特長を活かしたイベントの奨励
- ・子供たちが創り上げる運動会（11月実施）の実施

(4) 体力向上と粘り強さを養う体育的活動の実践

(5) 誰もが安心して学校生活を送ることができる生徒指導体制の充実

(6) 子供の生きづらさを解消するための発達支援・就学支援における組織的な体制・連携の構築

(7) 「個別最適な学びと協働的な学び」「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた ICT 活用の推進

(8) 地域資源（人的資源・物的資源）を最大限に生かした体験活動・探究的な学びの推進

(9) 子供の実態や健康面等に配慮した日課の設定

- ・フラット日課（同じリズムで生活を送る）の設定
- ・サマータイム日課（特別日課5時間）の導入

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分↑に行った イ 行↑った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった

(理由)

- ・情報発信したことがどのように効果をあげたのか検証をすべきだ。
- ・学校にお任せだが、しっかりと発信をしている。
- ・学校へのわからない事への問いかけに説明はしてはいただけるが、その結果がどうなったのかわからない所があった。
- ・学校のホームページに誰でも閲覧できるよう公開をしていた。
- ・ホームページで学校運営協議会の資料や会議録を公開している。CSだよりも発行している。
- ・友人・知人には説明をしてきているが、その他の方には不十分でした。
- ・委員が率直に意見を述べる事ができた。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・更なる活動の拡大。
- ・学校・家庭・地域が連携していかないと子供たちを守り、育てていく事はできないので、情報の共有は大事だと思いますが、PTAが任意になり、年1回の総会もなくなり、懇談会も出る人も兄弟がいると全部は出れなくて、働いている保護者が多い中では難しいと思いますが、学校の様子を知る場所も減っているので、年1回は話をする場所を設けたらどうかと思う。
- ・初生小応援団の継続・拡充をより強固なものにする。
- ・初生小応援団のメンバーの拡充、地域との連携（文化の継承）
- ・PTAの活性化。ボランティア・応援団の拡充。
- ・初生小応援団の充実、地域ボランティアの拡充。

<記入上の留意点>

(様式1)

学校番号 (小・**中**)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 () 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ※ 前年度に協議会で協議した目標を再確認し、委員間で共有する。
- ※ 目標が、会議体として相応しい目標か、学校運営の基本方針に関わることを中心に据えられているか等を確認する。
- ※ 1～2点に絞るとよい。
- ※ **【重要】** <評価項目1～3>と<来年度の目標>は、委員個人の評価ではなく、協議会としてまとめた評価を記載する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)
- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目1をもとに、振り返る。
 - ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての評価を記載する。
 - ※ 学校運営の基本方針(自校の学校教育目標や「育てたい力」等)について、協議した内容を簡潔に評価する。(1～2点でよい。)

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)
- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目2をもと、振り返る。
 - ※ 成果・課題等を簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。(1～2点でよい。)

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)
- ※ 協議会での協議結果(会議録への記載内容等)について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ※ 1～2点に絞り、記載する。
- ※ 学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
- ★ 自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。

(様式1)

学校番号 (小・中 060)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立初生小学校運営協議会長

<本年度の目標>

初生小応援団の継続・拡充、一部地域ボランティアの募集

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

令和7年度初生小応援団実績表

R8.2.9

No.	月日	曜日	学年	教科等	支援の内容	依頼先	参加人数
1	5月7日	水			花壇・学級園草取り	応援団	9
2	5月9,16日	金	3年	社会	校区探検引率補助	応援団	5
3	5月下旬～ 7月中旬		1.2年 みどり	生活	あさがお、野菜の水やり支援（土日祝）	学年保護者	1年申込数 30名 依頼日数 16日
							2年申込数 30名 依頼日数 16名
4	6月5日	木			花壇整備	応援団	2
5	6月6日	金	3年	総合	農業体験（田植え等）引率支援・補助	応援団	7
6	6月9日	月			花壇定植	応援団	6
—	6月18日	水	2年	総合	校区探検	応援団	6 中止
7	7月17日	木	5年		30分回泳見守り補助	応援団	5
8	夏休み期間		みどり		さつまいも・花壇水やり支援 （土日祝・学校閉庁日）	みどり 応援団	申込数 24名 依頼日数 20日
9	9月～ 10月下旬		1年 みどり	生活	あさがお、さつまいも水やり支援（土日祝）	1年保護者	申込数 27名 依頼日数 19日
10	9月～ 11月下旬		5年	家庭科	ミシン補助	5年保護者 応援団	12名 4名
11	10月2,3日	木金	全校	スポーツ	新体力テスト支援	応援団	8
12	10月23日	木	3年	総合	農業体験（稲刈り等）引率補助	応援団	5
13	10,11月		3年	社会科	校外学習引率支援	応援団	7
—	9月		5年	図画工作	糸のこ補助		取り止め
—	10月		みどり	家庭科	ミシン補助		取り止め
14	10,11月		6年	家庭科	ミシン補助	6年保護者	11
—	10月		5年	図画工作	版画刷り補助		取り止め
15	10月24日	金			学校定植	応援団	3
16	11月27日	木	2年	生活	校区探検（曳馬野消防署）	2年保護者	24
17	11,12月		4年	図画工作	のこぎり補助	4年保護者 応援団	16名
							2名
—	11月		4年	総合	校外学習引率支援		今年度以降なし
18	11,12月		5年	家庭科	調理実習補助（みそ汁）	5年保護者	11
—	12月		みどり	家庭科	調理実習補助		取り止め
19	11月21日	金			はつおいスマイル発表会（扉開閉）	応援団	3
20	12月		3年	書写	書き初め補助	応援団	8
—	12月		4年	算数	そろばん補助	4年保護者 応援団	9名 3名
21	2月4,6,10日			図書	学級文庫整理	応援団	9
22	3月		3年	算数	そろばん補助	3年保護者	9

※令和7年度初生小応援団登録者数 32名

令和8年度初生小学校支援依頼一覧表(予定)

R8.2.9

No.	時期	学年	教科等	支援の内容
1	5月上旬			花壇・学級園草取り
2	5月中旬			学校花壇定植
3	5月	3年	社会	校区探検
4	6月	2年	生活	校区探検
5	6月	3年	総合	農業体験(田植え等)引率支援・補助
6	6月中旬～ 7月中旬	1.2年 みどり	生活	あさがお、野菜、さつまいもの水やり支援(土日祝)
7	7月	5年		30分間回泳見守り支援
8	夏休み期間	みどり		さつまいも水やり支援(土日祝閉庁日)
9	9月～ 10月下旬	1年・みどり	生活	あさがお、さつまいも水やり支援(土日祝)
10	9月	5年	家庭科	ミシン補助
11	10月	全校		新体力テスト支援
12	10月	3年	総合	農業体験(稲刈り等)引率補助
13	10月	3年	社会	校外学習引率補助
14	10月	6年	家庭科	ミシン補助
15	10月中旬			学校花壇植え替え
16	10月or 11月	2年	生活	校区探検
17	11月	4年	図画工作	のこぎり補助
18	12月	4年	図画工作	彫刻刀補助
19	11月	5年	家庭科	調理実習補助
20	12月	3年	書写	書き初め補助
21	12月	4年	算数	そろばん補助
22	2月		図書	学級文庫整理
23	3月	3年	算数	そろばん補助